

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 ディービーエックス株式会社

コード番号 3079 URL <http://www.dvx.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 若林 誠

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長

(氏名) 田島 恵美子

TEL 03-5985-6827

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	7,337	17.5	298	78.1	316	59.1	181	62.0
21年3月期第2四半期	6,247	—	167	—	198	—	111	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	130.51	129.74
21年3月期第2四半期	82.09	81.26

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	7,000	2,066	29.5	1,479.05
21年3月期	6,428	1,923	29.9	1,387.25

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,066百万円 21年3月期 1,923百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	16.2	534	15.3	530	0.9	292	5.2	210.86

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	1,397,200株	21年3月期	1,386,800株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	148株	21年3月期	148株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	1,388,562株	21年3月期第2四半期	1,362,750株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策の効果や企業の在庫調整が促進されたことによる景気上昇の動きが一部見られたものの、雇用・個人消費環境は引き続き悪化するなど、依然として厳しい状況が続きました。医療業界におきましては、景気後退の影響は比較的少ないものの、医療費抑制を目的とする医療制度改革が継続されております。また、当社の顧客である医療施設でも経営の合理化が加速するなど、当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような情勢のもと、当社では、新規顧客開拓による商品の拡販を進めるとともに、広島営業所、埼玉営業所を開設するなど、より競争力のある組織体制の確立を目指し、事業拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は7,337,108千円（前年同四半期比17.5%増）、営業利益298,631千円（同78.1%増）、経常利益316,383千円（同59.1%増）、当期純利益181,217千円（同62.0%増）となりました。

事業区分別の売上状況は、不整脈事業では心臓ペースメーカ、電極カテーテルがともに数量を伸ばし、6,368,637千円（前年同四半期比18.1%増）となりました。虚血事業では自動造影剤注入装置「ACIST」の販売が順調に推移した結果、961,350千円（同13.1%増）となりました。その他では、7,120千円（同14.0%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、前事業年度末と比較して572,303千円増加し、7,000,765千円となりました。また、純資産につきましては、前事業年度末と比較して142,670千円増加し、2,066,309千円となりました。

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は2,010,664千円となり、前事業年度末と比較して32,694千円の増加となりました。資金が増加した主な要因は、以下のキャッシュ・フローによるものです。

営業活動により得られた資金は241,869千円となりました。これは主に売上債権の増加322,632千円、法人税等の支払額135,211千円等の支出要因があったものの、税引前四半期純利益316,685千円に加え、仕入債務の増加320,755千円等の収入要因があったことによるものであり、前年同四半期と比較して79,465千円の収入増加となっております。

投資活動により支出した資金は158,722千円となりました。これは主に関係会社株式の取得による支出116,898千円及び有形固定資産の取得による支出20,632千円等の支出要因があったことによるものであり、前年同四半期と比較して99,907千円の支出増加となっております。

財務活動により支出した資金は45,914千円となりました。これは主に長期借入による収入が100,000千円あったものの、短期借入金の返済による支出25,300千円、長期借入金の返済による支出81,470千円及び配当金の支払額48,481千円等の支出要因があったことによるものです。なお、前年同四半期は9,960千円の収入となっております。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月13日公表の「平成21年3月期 決算短信」における業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断において、経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況について大幅な変動がないため、前事業年度末に使用した業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,110,664	2,077,969
受取手形及び売掛金	3,402,595	3,079,962
商品	504,951	490,574
繰延税金資産	77,627	51,290
受託開発仕掛勘定	288,534	255,624
その他	69,461	131,475
貸倒引当金	△5,045	△5,895
流動資産合計	6,448,788	6,081,002
固定資産		
有形固定資産	126,213	122,088
無形固定資産	44,949	41,005
投資その他の資産		
投資有価証券	42,550	42,286
関係会社株式	177,971	—
差入保証金	97,968	86,749
繰延税金資産	53,365	46,919
その他	11,122	8,410
貸倒引当金	△2,164	—
投資その他の資産合計	380,813	184,365
固定資産合計	551,976	347,459
資産合計	7,000,765	6,428,462
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,636,746	3,315,991
短期借入金	100,000	125,300
1年内返済予定の長期借入金	149,814	136,952
未払法人税等	175,951	146,000
賞与引当金	117,464	75,410
売上値引引当金	22,686	—
仮受受託開発補助金勘定	295,000	268,002
その他	96,256	119,027
流動負債合計	4,593,919	4,186,683
固定負債		
長期借入金	203,823	198,155
退職給付引当金	76,448	64,607
役員退職慰労引当金	54,152	52,202
その他	6,113	3,175
固定負債合計	340,537	318,139
負債合計	4,934,456	4,504,822

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	338,377	333,437
資本剰余金	308,650	303,710
利益剰余金	1,419,407	1,286,722
自己株式	△173	△173
株主資本合計	2,066,262	1,923,697
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46	△58
評価・換算差額等合計	46	△58
純資産合計	2,066,309	1,923,639
負債純資産合計	7,000,765	6,428,462

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	6,247,004	7,337,108
売上原価	4,969,558	5,844,305
売上総利益	1,277,446	1,492,802
販売費及び一般管理費	1,109,802	1,194,171
営業利益	167,643	298,631
営業外収益		
デリバティブ評価益	26,707	—
為替差益	7,218	20,617
その他	1,172	1,499
営業外収益合計	35,098	22,116
営業外費用		
支払利息	1,703	3,336
株式交付費	1,952	12
貸倒引当金繰入額	—	1,014
その他	275	—
営業外費用合計	3,931	4,363
経常利益	198,811	316,383
特別利益		
固定資産売却益	175	301
特別利益合計	175	301
特別損失		
たな卸資産評価損	11,846	—
特別損失合計	11,846	—
税引前四半期純利益	187,139	316,685
法人税、住民税及び事業税	122,721	168,407
法人税等調整額	△47,449	△32,940
法人税等合計	75,271	135,467
四半期純利益	111,867	181,217

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	187,139	316,685
減価償却費	28,817	30,278
デリバティブ評価損益 (△は益)	△26,707	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	100	1,314
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,995	42,053
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,848	11,841
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,231	1,950
売上値引引当金の増減額 (△は減少)	92,767	22,686
受取利息及び受取配当金	△748	△429
支払利息及び社債利息	1,978	—
支払利息	—	3,336
株式交付費	1,952	12
為替差損益 (△は益)	△212	△584
有形固定資産売却損益 (△は益)	△175	△301
売上債権の増減額 (△は増加)	△191,376	△322,632
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△95,857	△16,361
仕入債務の増減額 (△は減少)	313,894	320,755
未払消費税等の増減額 (△は減少)	128	3,959
受託開発勘定の増減額	△26,861	△5,912
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18,184	3,953
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△3,472	△33,405
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△27	△8
小計	277,768	379,191
利息及び配当金の受取額	845	429
利息の支払額	△1,515	△2,540
法人税等の支払額	△114,693	△135,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,403	241,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△123,000
定期預金の払戻による収入	—	123,000
有形固定資産の取得による支出	△9,757	△20,632
有形固定資産の売却による収入	1,470	553
無形固定資産の取得による支出	—	△9,990
関係会社株式の取得による支出	—	△116,898
差入保証金の差入による支出	△6,176	△12,370
差入保証金の回収による収入	2,226	761
貸付けによる支出	△54,470	—
貸付金の回収による収入	8,100	—
その他	△206	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,814	△158,722

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	—
短期借入金の返済による支出	△24,900	△25,300
長期借入れによる収入	50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△74,572	△81,470
株式の発行による収入	—	9,867
株式の発行による支出	△361	—
配当金の支払額	△40,206	△48,481
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△529
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,960	△45,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	212	△4,539
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	113,762	32,694
現金及び現金同等物の期首残高	1,567,288	1,977,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,681,050	2,010,664

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産実績

当社の事業は、商品の仕入販売であり、生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

(2) 仕入実績

(単位：千円、%)

事業区分	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
不整脈事業	4,592,816	90.3	5,340,932	91.0	748,115	16.3
虚血事業	490,660	9.6	524,930	8.9	34,270	7.0
その他	3,278	0.1	3,982	0.1	704	21.5
合計	5,086,755	100.0	5,869,845	100.0	783,090	15.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当社の事業形態は、原則として受注と販売が同時に発生するため、記載を省略しました。

(4) 販売実績

(単位：千円、%)

事業区分	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
不整脈事業	5,390,589	86.3	6,368,637	86.8	978,048	18.1
虚血事業	850,168	13.6	961,350	13.1	111,182	13.1
その他	6,246	0.1	7,120	0.1	873	14.0
合計	6,247,004	100.0	7,337,108	100.0	1,090,104	17.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。